サステナビリティ

情報セキュリティマネジメント

特に貢献を目指すSDGs

マネジメント情報

テーマと事業活動の関わり

不二製油グループが事業活動を通して社会に貢献していくための基盤としてリスクマネジメントが重要であり、デジタルデータの価値が向上する昨今ではリスクマネジメントの一つのテーマとして、情報セキュリティマネジメントが期待されます。また、情報セキュリティマネジメントは、自社の経営情報のみならず、お客様や従業員などのデータ保護を徹底するという側面からも重要です。

考え方

不二製油グループでは、情報システムを取り巻くさまざまな脅威に対し、情報資産の機密性・完全性・可用性を確保・維持するためにセキュリティレベルの向上に取り組んでいます。当社グループの方針として、情報管理規程および情報セキュリティ規程を策定し、規程の周知徹底に向けた従業員教育を継続して行っています。技術的には、外部からの不正アクセスを防御する仕組みやコンピュータウイルスを防御する仕組みなど、多層的な対策を講じています。今後も、情報セキュリティレベルの検証・確認・向上を継続していきます。

推進体制

実効性のあるリスクマネジメントについては、最高財務責任者（CFO）の管掌のもとで取り組みを推進しています。同管掌役員のもと、情報管理統括責任者およびCSIRT（Computer Security Incident Response Team）を設置しています。CSIRTとして各グループ会社に情報管理責任者および情報セキュリティ管理者を指名するとともに、外部の専門家の助言を得ながら、計画的に全グループ会社の情報セキュリティ水準向上を図っています。
また、ESG経営の重点テーマの一つとして、取締役会の諮問機関であるESG委員会※ において進捗や成果を確認しています。

※ ESG委員会の詳細については、以下のURLをご参照ください。

- https://www.fujioilholdings.com/csr/approach/

目標・実績

2019年度目標

- 情報セキュリティマネジメント成熟モデルのCOBIT※ レベル3の達成

※ COBIT：ITガバナンスの成熟度を測るフレームワークで、0～5段階で評価。5が最も成熟しているレベル（Optimizing）。2019年4月時点ではレベル1～2。

2019年度実績

2019年度は主にランサムウェア※ 感染対策をテーマとして施策を実行し、上記ガバナンスモデルの目標を達成しています。同施策を実行してから、ランサムウェアによる被害は発生していません。一部、中国のグループ会社においては新型コロナウィルス（COVID-19）等の影響により未完の施策が存在し、状況が沈静化次第、施策実行の再開を予定しています。

※ ランサムウェア：感染したPCやファイルを使用不能とし、PCやファイルを使用するための「身代金」を要求する不正プログラム。

Next Step

ICTによるプロセス改革と企業価値創出、およびグループガバナンスを実現するため安全・安心なICTを不二製油グループに継続的に提供していきます。 不二製油グループ全社を挙げて情報セキュリティ活動に取り組むことで、取引先をはじめ社会から信頼される会社になることを目指します。
2020年度は2019年度の施策を継続実施するとともに、情報漏洩対策等の新たなテーマにて施策を実行し、COBITレベル4への到達を目指します。 また国内・海外グループ会社の従業員を対象とし、情報セキュリティ意識向上のためのトレーニングプログラムを継続実施してまいります。